

テーマ

園名	もりのおがわ保育園
日時	2026年1月9日
実践者	岡山理絵子
対象年齢人数	全園児

テーマを設定する

- ・見えない空気についてサイエンスショーから空気の不思議に気が付く
- ・光の中に隠れている色を発見してみる

環境をデザインする

- 準備物
サイエンスショー申込み

探求活動を実践する

・子どもの活動
全園児参加する。空気砲、大きな風船では空気の動きや空気の重さを体験したり、偏光板を通して光を見ることで光の中に色が隠れていることに気が付いたりする。分かりやすく視覚を通して変化に気づけたり、子どもたちの興味に合わせてサイエンスショーが進み、0歳児から5歳児までが集中して参加することが出来た。空気砲を試すことが出来るように子どもが試しやすいサイズの段ボールを用意しておいた。年中、年長児の中には自分で試したりする姿が続いた。サイエンスショーを通してわくわくする体験を子どもと共に体験できて良かった。



振り返り・気づき

振り返り

・全園児が参加することに戸惑いもあったが、年度の後半であることもあり子ども達も期待を持ち参加できていた。視覚で変化を感じ取ることが出来ることでとてもわかりやすい内容であった。子どもたちが感じた思いを繋げていくことが難しく感じた。大勢であっても自分で試すことが出来る経験は集中を高めると感じた。

反省・次回への課題

保育士に知識がないことで遊びの中で展開することやもっと試してみたいような活動に繋げることが難しかった。自分でやってみたい気持ちに寄り添えるような準備が大事であると感じた